

外交史 I

科目ナンバリング INR-101
選択 2単位

日暮 吉延

1. 授業の概要(ねらい)

この講義の目的は、近代日本外交の歴史的展開に関する分析を通じて、諸国家間の多様な利害を調整し、国際秩序を維持する「外交」への理解を深めることです。

授業では、政治エリートの認識、国内政治、国民世論、国際環境など、さまざまな要因を踏まえながら、昭和戦前期の比較的短い期間に対象を限定したうえで、具体的な事件や問題、政策決定過程をなるべく詳細に検討します。

2. 授業の到達目標

- 1) 外交史に関する基礎的な知識を有し、政治外交の仕組みを把握できる。
- 2) 特定の事態に対する政策オプションを検討し、戦略的思考を理解する。
- 3) 政策決定過程に関する詳細な分析のあり方を習得する。
- 4) 戦前期日本と国際環境の関連性について理解する。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績(90%)、授業への貢献度(10%)を評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定の教科書は使用せず、授業中に参考資料を配付します。

参考文献

参考文献は適宜、授業中に紹介します。

5. 準備学修の内容

毎回、自分でとったノートをなるべく当日中に一度、読み返すこと。疑問に思った部分があれば、事典等で調べてみる。この簡単な復習をするだけでも学習成果は相当に上がるはずです。

6. その他履修上の注意事項

充実したノートを自分自身で作成することが重要です。その理由は二つ。(1)講義を聴いて「ここは重要だ」と自分が判断した部分を迅速にメモする(ノートをとる)ことは、社会に出てから必要となる「問題のポイントをつかむ力」「判断力」をつける訓練になります。(2)人間は残念ながら物事をどうしても忘れてしまうので、覚えておくためにメモ(覚え書き、備忘録)をとることが必要です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--------------|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 日独伊三国軍事同盟(1) |
| 【第3回】 | 日独伊三国軍事同盟(2) |
| 【第4回】 | 日独伊三国軍事同盟(3) |
| 【第5回】 | 日独伊三国軍事同盟(4) |
| 【第6回】 | 日独伊三国軍事同盟(5) |
| 【第7回】 | 日ソ中立条約(1) |
| 【第8回】 | 日ソ中立条約(2) |
| 【第9回】 | 日ソ中立条約(3) |
| 【第10回】 | 日米関係の危機(1) |
| 【第11回】 | 日米関係の危機(2) |
| 【第12回】 | 日米関係の危機(3) |
| 【第13回】 | 日米関係の危機(4) |
| 【第14回】 | 日米関係の危機(5) |
| 【第15回】 | まとめ |